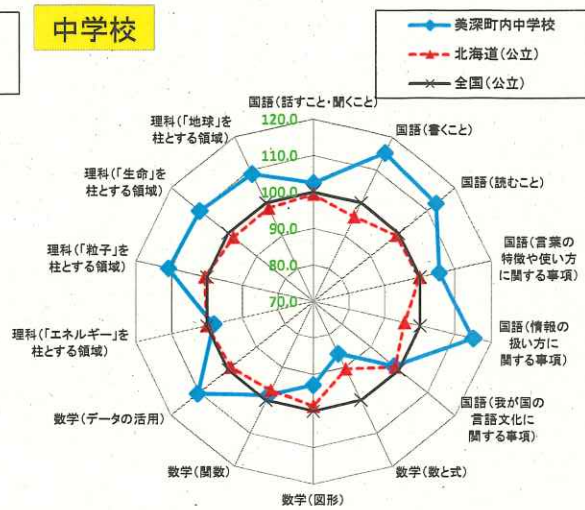
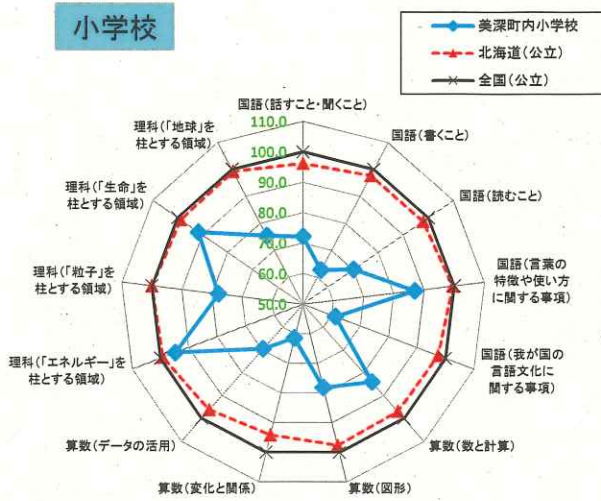


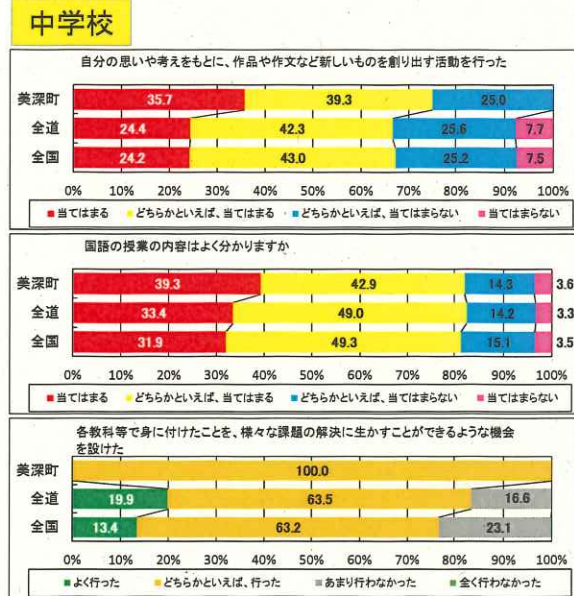
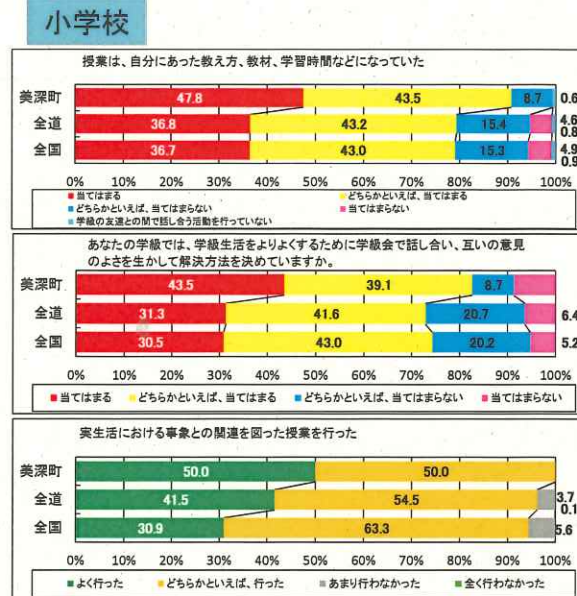
■美深町内の状況及び学力向上策 (小学校数:2校、児童数:23人) (中学校数:2校、生徒数:28人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【質問紙の状況】



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

町内の学校において、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行ったことにより、友達と協力しながら、学級生活をよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると考える児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童のよき点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしたことにより、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている児童が全国の割合を上回ったと考えられる。

中学校

国語では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行ったことにより、生徒は国語の授業の内容がよく分かるようになり、多くの領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業において、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出すことができている生徒が全国の割合を上回ったと考えられる。

【美深町の学力向上策】

(検証改善サイクルや望ましい学習習慣の確立に向けた取組、小中連携の取組等)

- ◎ 学校運営協議会を通じ、地域の声を生かした教育活動の推進
- ◎ 習熟度別指導やチーム・ティーチング、更にはリーディングスキルテスト・漢字検定を活用した指導及び学力向上の推進
- ◎ 幼・小・中・高が連携した指導を行い、ALT等の人材を有効活用した外国語教育の推進
- ◎ 1人1台端末を活用した児童生徒に合わせた効果的な学習の推進